

特別展のお知らせ

# 芥川龍之介 内なる歓びと苦悩 展

日本の近代文学史上、夏目漱石、森鷗外とともに文豪と呼ばれる作家「芥川龍之介」。今年の秋、仙北市で「芥川龍之介展」を開催します。

このたびの特別展は、天才的作家がどういう時代をどう生きたか、資料を通して知ってもらうための試みです

「羅生門」「河童」「蜘蛛の糸」など、今も世界中で愛読されている作家「芥川龍之介」の世界を市民の皆様にご覧いただきたいと存じます。



## 芥川龍之介の書画

角館町平福記念美術館  
仙北市角館町表町上丁4-4  
TEL 54-3888

## 芥川龍之介の生涯

新潮社記念文学館  
仙北市角館町田町上丁23  
TEL 43-3333

## 芥川龍之介の遺愛品

角館樺細工伝承館  
仙北市角館町表町10-1  
TEL 54-1700

# 2010年9月17日(金) ~ 11月3日(水)

## 会期中無休

主催：仙北市 仙北市教育委員会

## 田沢湖水害から50年 ～市民フォーラムと慰霊祭開催～

田沢湖水害から今年で50年を迎え、8月1日、生保内小学校で市民フォーラムが開催されました。

昭和35年8月3日の集中豪雨で、生保内川の堤防が決壊し、15人の尊い命が犠牲となったほか、住宅、農地等に甚大な被害をもたらしました。

NPO法人「癒しの溪流・里・まちネット」では、50年の節目を迎えた水害を振り返り、それを教訓とし

て自然災害への備えを新たにするためにフォーラムを、8月3日には、慰霊祭を開催したものです。

フォーラムには、当時、水害の被害に遭った人たちなど市民約50人が参加し、「癒しの溪流・里・まちネット」アドバイザー・技術士の丸井英一さんの「田沢湖水害が語ること」と題した基調講演では、「地域防災力を向上させるには、地域の人たちの日頃のつきあい、地域力が必要



で、この積み重ねが大事だ」と。また、水害被災者の浅利昭男さん、難波秀男の当時の話などに参加者は聞き入っていました。

広報せんぼくでは、地域イベントや情報などを募集しています

広報せんぼく 2010年8月16日号 No.64

■発行・編集 仙北市役所 総務部総務課文書広報係

■〒014-1298 秋田県仙北市田沢湖生保内字宮ノ後30番地

■発行 1日・16日 ■印刷 (株)松本印刷

■ TEL 0187-43-1111

■ FAX 0187-43-1300

■ E-Mail [semboku@city.semboku.akita.jp](mailto:semboku@city.semboku.akita.jp)

■ URL <http://www.city.semboku.akita.jp/>